

事務事業名	農業用河川工作物応急対策事業(東分頭首工)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	土地改良G	課長名	細木 浩之
施策名	(36)農業の振興	担当者名	菅澤 直樹	電話番号	0854-40-1053
目的:対象	市内の農家 意 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 業名 項 目 中事業 中事 0 5 5 5 0 4 業名	(内線)	2402
基本事業名	(107)農業基盤の整備				土地改良事業
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家 意 農業の生産性を維持・向上できるようにする。				農業用河川工作物 応急対策事業

1 現状把握[DO]

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 21 年度 ~ 29 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	農業用河川工作物(頭首工)の整備、補強。 事業費8,000千円以上100,000千円未満の 市発注工事。 ■事業費補助率(H25~H29) 市負担率3%(国55%、県42%) ■基本設計 平成21年度 ■計画書作成、事業採択 平成25年度 ■実施設計 平成26年度 ■工事着手~ 平成27年度...工場製作 平成28年度~平成29年度(繰越) ...据付及び土木工事 ■工事完了 平成29年度

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	■据付及び土木工事 ・工事管理(現場立会等) ・事業完了(検査) ・支払事務  ※H29事業完了					
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
ア	基本設計進捗率	%	100	100	100	-
イ	計画書作成・事業採択進捗率	%	100	100	100	-
ウ	実施設計進捗率	%	100	100	100	-
エ	工事進捗率	%	50	90	100	-

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
	洪水時氾濫区域内農地所有者	ア	受益戸数	戸	16	16	16	-
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)		
洪水時氾濫区域内農地の 荒廃防止を図る	ア	農地面積	ha	0.0	2.0	2.0	-	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
・据付工事 16,200千円 ・土木工事 16,008千円 計 32,208千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円	39,731	0	31,234
		地方債	千円	1,900	800	900
		その他	千円			
	一般財源	千円	200	0	74	
	事業費計(A)	千円	41,831	800	32,208	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	
	延べ業務時間	時間	150	150	160	
	人件費計(B)	千円	587	595	652	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	42,418	1,395	32,860	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成24年度から、この国庫補助事業が開始されたが、平成25年度には補助率が5%高上げられる等、拡充がされている。	特になし。	・この事業を実施することによって、農業用施設の治水機能が確保され、地域の安全確保に役立っている。また、地元負担金がないため継続的な実施要望がある。 ・一方、固定堰での要望が多いが、採択要件に合わず、実施出来ない状況である。

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 事業実施前に河川工作物の診断を行い、要改修・修繕の判定がされたものについて、事業実施をしている。 また、実施設計を精査し、工事発注しているため向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 治水機能が劣っている河川工作物について、事業実施が行われるため 治水上の安全が確保できない。
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 類似事業は存在するが、受益者負担金が発生する事業であるため、統廃合・連携はできない。
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 実施設計を精査した上で事業に着手するため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 概略設計から事業完了まで、最小限の業務時間で行っているため、削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 対象地域は、河川工作物が現存している地域であるため限定されるが、定期診断及び申請診断を行い、計画されている。また、地元負担金はない。

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	河川工作物について、治水機能の劣っている工作物について、安全を確保するために実施できる事業である。 また、受益者負担金がないため、今後も継続的な事業実施が必要である。

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		